

公立陶生病院歯科医師臨床研修プログラム

050154002

公立陶生病院

目次

1. 公立陶生病院の概要	
(1) 概要	1
(2) 組織図	2
(3) 病院基本理念、基本方針 行動規範	3
(4) 患者の権利と責務	4
(5) 臨床研修の理念及び基本方針	5
2. 名称	6
3. プログラムの特色	6
4. 臨床研修の目標	6
5. プログラム責任者および指導体制	6
(1) プログラム責任者	
(2) 研修歯科医の指導体制	
(3) 臨床研修をおこなう分野および臨床研修施設	
6. 研修期間	6
7. 歯科研修管理委員会	6
(1) 役割	
(2) 組織	
8. 到達目標	7～12
A. 歯科医師としての基本的価値観の習得	
B. 資質・能力の習得	
C. 基本的診療業務の習得	
9. 研修の到達評価	12
10. 症例数	12
11. 到達目標の達成度評価	13
12. 募集定員および募集および採用の方法	13
(1) 定員	
(2) 採用	
13. 研修歯科医の処遇	13
(1) 雇用形態	
(2) 研修手当	
(3) 勤務時間	
(4) 休暇	
(5) 時間外勤務の有無	
(6) 当直の有無	
(7) 宿舎の有無	
(8) 研修歯科医室の有無	
(9) 社会保険・労働保険	
(10) 健康管理	
(11) 歯科医師賠償責任保険	
(12) 外部の研修活動	
様式1	14
様式2	15～23
様式3	24～27
様式4	28～29

1. 公立陶生病院の概要

(1) 概 要

当院は、昭和 11 年 10 月、地域住民の大きな期待を担って創立されました。

当院開設当時（昭和 10 年頃）の瀬戸市は、陶磁器産業都市として栄えた町でありましたが、零細企業が集団で存在したため、産業公害患者が多い地域でした。しかしながら、医療は十分でなく、開業医もごく少数という状況であったため、住民の中に地元病院設立の要望が高まり、産業組合法による有限責任医療購買利用組合病院として、創立されました。

以来、幾多の母体変遷を経て、昭和 34 年 6 月に瀬戸市、旭町、長久手町による一部事務組合立の病院となり、尾張東部地域の基幹病院として発展し、今日に至っています。

- ① 開設者 公立陶生病院組合
(管理者 瀬戸市長 川本雅之)
- ② 構成市 瀬戸市 尾張旭市及び長久手市
- ③ 院長 福岡宗良
- ④ 診療科目 内科、脳神経内科、呼吸器・アレルギー疾患内科、消化器内科、循環器内科
腎臓内科、内分泌・代謝内科、血液・腫瘍内科、緩和ケア内科、化学療法内科
感染症内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科
合計 30科
- ⑤ 病床数 633床 (一般602床、結核25床、感染6床)
- ⑥ 職員数 1,516人 (臨時職員を含む。当院への派遣職員、休職者を除く。)

医 師	200 人
薬 剤 師	45 人
技 師	205 人 (放射線技師 42 人、検査技師 52 人、理学療法士 26 人 管理栄養士 8 人、臨床工学技師 37 人、その他 40 人)
看 護 師	828 人 (助産師 37 人、看護師 780 人、准看護師 11 人)
事 務 員	143 人
労 務 員 他	95 人

```

graph TD
    A[同族] --- B[同姓]
    B --- C[同姓(同族)]
    B --- D[同姓(非同族)]
    B --- E[同姓(非同族)]
    D --- F[同姓(非同族)]
  
```



病院基本理念

地域の皆さんに親しまれ、信頼され、
期待される病院をめざします

基本方針

1. 患者さんに寄り添い、心のこもった医療を提供します
2. 安全で質の高い医療を提供します
3. 地域連携を推進し、その中核を担います
4. 高い技術と高い志を備えた医療人を育成します
5. 健全な病院経営に努め、安定した医療を提供します

行動規範

まごころ、チームワーク、経営マインド——
——

常によりよい陶生病院を目指します。

患者の権利と責務

患者本位の医療をめざすため、患者の権利と責務をここに示します

《知る権利》

病状、治療内容、検査内容、これらに伴う危険性や回復の可能性などについて、

分かりやすい言葉で説明を求めることができます

ご自身の診療録の開示を求めることができます

《自己決定の権利》

病気について十分な説明を受けた後、自己の自由な意思に基づいて、治療、検査その他の診療行為を受け入れること、選択すること、又は拒否することも

できます他の専門医の意見（セカンドオピニオン）を聞く機会を持つことができます

《プライバシーが保護される権利》

個人のプライバシーの保護については、十分に配慮されます

《参加と協力の責務》

医療従事者と協力し合い、治療と看護に参加していただく必要があります

他の患者の診療や職員の業務に支障をきたす行為は、厳に慎まなければなりません

受けた医療に基づき請求された医療費は、遅滞なく支払わなければなりません

臨床研修の理念及び基本方針

1 臨床研修理念

- ・思いやりを持って患者と接し、専門性にとらわれない全人的治療を行うことのできる医師をめざす。
- ・チーム医療の一員として地域医療に貢献できるよう、プライマリ・ケアに必要な基本的診療能力を習得する。

2 臨床研修基本方針

- ・安心安全かつ質の高い医療を行うための基本的臨床能力を身につける。
- ・地域の基幹病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- ・セルフケアに留意しつつ、生涯にわたって学び続ける姿勢を養う。
- ・広い視野と見識を身につけるため、学会参加・発表を積極的に行う。
- ・患者やその家族に信頼されるようなコミュニケーション能力を身につける。
- ・病気だけでなく人を診る姿勢を身につける。

2. 名称 公立陶生病院歯科医師臨床研修プログラム

3. プログラムの特色

これからの歯科医師に求められる資質は、単に歯牙硬組織や歯周組織の治療だけではなく、全身疾患の一部分としての口腔内疾患に対応できる能力である。

しかしながら全身疾患を学ぶ機会は、歯科大学（歯学部）の教育だけでは十分とはいえない。

当院の歯科医師臨床研修プログラムの特色は、将来の専門性にかかわらず、医学・歯科医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常臨床に適切に対応できるようプライマリ・ケアの基本的な診察能力を身に付けることができます。当院では口腔外科小手術をはじめ、悪性腫瘍、顎変形症や口腔インプラントなどの口腔外科診療だけではなく、有病者に対する一般歯科診療にも力を入れており、歯科・口腔外科領域の疾患を満遍なく経験することができます。また、当院は日本口腔外科学会の認定指定研修施設となっています。

4. 臨床研修の目標

- (1) 問診、診査・診断、治療方針の立案がすべて一人でできること
- (2) 一般歯科治療全般がすべて一人でできること

5. プログラム責任者および指導体制

- (1) プログラム責任者 歯科口腔外科主任部長 服部 雄紀

- (2) 研修歯科医の指導体制

歯科および歯科口腔外科の研修においては、原則として見学、介助、診療のすべてを指導歯科医の指導、監督下に行う。また、多職種連携のチーム医療に関しては、看護師やその他の医療職からの評価も参考にする。

- (3) 臨床研修を行う分野及び臨床研修施設
すべての研修分野は公立陶生病院で行う。

6. 研修期間

1年とする

令和8年4月1日～令和9年3月31日

7. 歯科研修管理委員会

- (1) 役割
 - 1. 臨床研修の実施を統括管理
 - 2. 研修プログラムの作成
 - 3. プログラム相互間の調整

4. プログラムの質の向上
5. 研修歯科医の管理（採用、中断、修了の評価）
6. 指導歯科医の資質向上
7. 各臨床研修施設における実施状況や受入状況の把握

(2) 組織

1. 病院の院長
2. プログラム責任者
3. 指導医
4. 研修管理室長
5. 看護部門の責任者
6. 事務部門の責任者
7. 外部委員

8. 研修の到達目標

① プログラムの目標

歯科医師が歯科医師としての人格をかん養し、将来の専門性にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、基本的価値観（プロフェッショナルリズム）と一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう基本的診療能力を身につけ、最善の医療の提供ができるようになることである

② 到達目標

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）の習得1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度
患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 資質・能力の習得

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

(1) 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。

(2) 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。

- (3) 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- (4) 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- (5) 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- (1) 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- (2) 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- (3) 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- (4) 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- (5) 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- (1) 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- (2) 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- (3) 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- (4) 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- (1) 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- (2) 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- (3) 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- (4) 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- (1) 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- (2) 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して患者の主体的な意思決定を支援する。
- (3) 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- (1) 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を

図る。

(2) 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。

(3) 医療チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

(1) 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。

(2) 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。

(3) 予防医療・保健・健康増進に努める。

(4) 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。

(5) 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

(1) 医療上の疑問点に対応する能力を身につける。

(2) 科学研究方法を理解し、活用する。

(3) 臨床研究や治験の意義を理解する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

(1) 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。

(2) 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。

(3) 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。

C. 基本的診療業務の習得

1 基本的診療能力等

(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画

〈研修内容：初診患者に対し、①から⑥までを一連で実施する。〉

〈症例数：30症例〉

① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。

〈研修内容：初診時医療面接、再診時医療面接〉

② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。

〈研修内容：口腔内診察、頭頸部診察、各種検査の必要性の判断〉

③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。

〈研修内容：エックス線検査、咬合検査、咀嚼能力検査、歯周組織検査の必要性を理解・説明・実施〉

④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。

＜研修内容：担当患者の診断に関する口頭試問＞

- ⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一
口腔単位の診療計画を検討し、立案する。

＜研修内容：診断計画に関するカンファレンス参加＞

- ⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び
家族の意思決定を確認する。

＜研修内容：患者への病状説明、インフォームド・コンセント、同意書の取得＞

（２）基本的臨床技能等

- ① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。

＜研修内容：ブラッシング指導、フッ化物歯面塗布＞

＜症例数：10症例＞

- ② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実
践する。

a. 歯の硬組織疾患

＜研修内容：う蝕に対するCR修復・インレー修復＞

＜症例数：20症例＞

b. 歯髄疾患

＜研修内容：抜髄処置・感染根管処置＞

＜症例数：20症例＞

c. 歯周病

＜研修内容：スケーリング、SRP、動揺歯の固定処置＞

＜症例数：40症例＞

d. 口腔外科疾患

＜研修内容：抜歯手術＞

＜症例数：40症例＞

e. 歯質と歯の欠損

＜研修内容：歯冠補綴・ブリッジおよび義歯による補綴＞

＜症例数：20症例＞

f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下

＜研修内容：高齢者の摂食嚥下機能訓練（歯科リハビリテーション）＞

＜症例数：10症例＞

- ③ 基本的な応急処置を実践する。

＜研修内容：疼痛、外傷、修復物脱離、義歯破損への対応＞

- ④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を
評価する。

＜研修内容：担当患者の診療に必要なバイタルサインを測定し、全身状態を

評価する＞

＜症例数：50症例＞

⑤ 診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。

⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。

（3）患者管理

① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。

＜研修内容：高血圧および糖尿病で医科診療中の患者に、歯科治療上の問題点と服用薬剤等について説明する＞

＜症例数：50症例＞

② 患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。

＜研修内容：がん治療中や終末期患者の歯科治療について医科主治医とカルテもしくは直接コンタクトを行い情報共有する＞

＜症例数：10症例＞

③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。

＜研修内容：心拍および血圧の状況に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う＞

＜症例数：20症例＞

④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。

⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。

＜研修内容：入院患者に療養上の留意事項を説明し、周術期等口腔機能管理を行う＞

＜症例数：50症例＞

（4）患者の状態に応じた歯科医療の提供

① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。

② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。

2 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

（1）歯科専門職の連携

① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理の際に連携を図る。

② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。

③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。

(2) 多職種連携、地域医療

- ① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
- ② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
- ③ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
- ④ 歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、接触嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。

(3) 地域保健

- ① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。
- ② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。

(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

- ① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。
- ② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。
- ③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

9. 研修の到達評価

(1) 個々の項目と評価については、研修期間中に適宜評価する。

ア 研修歯科医の自己評価

各項目における達成度を自己評価する

イ 指導歯科医としての評価

研修歯科医の行った自己評価の各項目に対して、指導歯科医としての評価で行い研修の成果・問題点・注意点を指導歯科医の意見として研修歯科医に伝える。

(2) 研修期間終了時にはその期間の研修の成果・問題点・研修内容への希望と研修の総括と行う。

ア 歯科研修管理委員会は、年に3回程度委員会を開催し、研修歯科医の研修状況を把握し、指導体制の評価を評価する。

イ 指導方法と指導内容については、研修歯科医に評価させる機会を設け研修における問題について双方で協議し、改善を目指す。

10. 症例数

- | | |
|---------------------|---------|
| (1) 到達目標達成に必要な症例数 | 合計370症例 |
| (2) 経験することを目標とする症例数 | 合計500症例 |

1 1. 評価に関する事項

(1) 修了判定を行う項目

様式4-1歯科医師臨床研修の目標の達成度判定表において、いずれの到達目標（全15項目）の達成状況が「既達」であること。

また、経験した症例（レポートの提出）の詳記がなされていること。

(2) 修了判定を行う基準

必須項目を網羅した上で、歯科臨床研修委員会にて承認

1 2. 募集定員および募集および採用の方法

(1) 募集定員

1名

(2) 募集方法及び採用方法

公募とし、面接により選考を行う。

また、マッチングを使用し、採用決定する。

1 3. 研修歯科医の処遇

(1) 雇用形態 常勤

(2) 研修手当 基本手当 2,393円/時間

賞与 972,327円

(3) 勤務時間 8:30～17:15（休憩時間：1日につき60分間）

(4) 休暇 土曜日、日曜日、国民の祝日

有給休暇20日、夏期休暇、年末年始、結婚休暇、忌引休暇、
病気休暇

(5) 時間外勤務 有

原則として時間外勤務はなし。しかし症例などにより時間外の研修が望ましい時は、規定により時間外手当を支給する。

(6) 当直 無

(7) 宿舍 有 家賃月額 17,000円

(8) 研修歯科医室 有

(9) 社会保険・労働保険 愛知県都市職員共済組合

厚生年金保険

労働者災害補償保険

雇用保険

(10) 健康管理 健康診断 2回/年

HBワクチン接種 インフルエンザ予防接種

公認心理士によるカウンセリング（希望者）

(11) 歯科医師賠償責任保険 医療機関において加入する、個人加入任意

(12) 外部の研修活動 学会、研究会等への参加可

学会、研究会等への参加費用は院内規定により支給有

研修歯科医評価表 I

様式1

「A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

		レベル 1 期待を 大きく下 回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく上 回る	観 察 機 会 な し
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任をはたし、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

研修歯科医評価表 II

様式2

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

		レベル 1 期待を 大きく下 回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく上 回る	観 察 機 会 な し
1-1. 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
1-2. 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
1-3. 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
1-4. 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
1-5. 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

2. 歯科医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

		レベル 1 期待を 大きく下 回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく上 回る	観 察 機 会 な し
2-1. 医療の質と患者安全の重要性 を理解し、それらの評価・改善に努 める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
2-2. 日常業務の一環として、報 告・連絡・相談を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
2-3. 医療事故等の予防と事後の 対応を行う。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
2-4. 歯科診療の特性を踏まえた院 内感染対策について理解し、実践 する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
2-5. 医療従事者の健康管理（予防 接種や針刺し事故への対応を含 む）を理解し、自らの健康管理に 努める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会 なし
3-1. 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、識別診断と初期対応を行う。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
3-2. 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
3-3. 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
3-4. 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

		レベル 1 期待を 大きく下 回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく上 回る	観 察 機 会 な し
4-1. 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
4-2. 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
4-3. 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
4-4. 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

		レベル 1 期待を 大きく下 回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく上 回る	観 察 機 会 な し
5-1. 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
5-2. 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
5-3. 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

		レベル 1 期待を 大きく下 回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく上 回る	観 察 機 会 な し
6-1. 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
6-2. 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
6-2. チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会 なし
7-1. 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
7-2. 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
7-3. 予防医療・保健・健康増進に努める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
7-4. 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
7-5. 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
8-1. 医療上の疑問点に対応する能力を身につける。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
8-2. 科学的研究方法を理解し、活用する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
8-3. 臨床研究や治験の意義を理解する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

		レベル1 期待を大 きく下回 る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を大 きく上回 る	観察 機会 なし
9-1. 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
9-2. 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
9-3. 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む）を把握する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

1. 基本的診療能力等

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画 ①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的診察を実施し、診察所見を解釈する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
(2) 基本的臨床技能等 ①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

③基本的な応急処置を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑤診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑥医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
(3) 患者管理						
①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
②患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供						
①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

		レベル 1 期待を大きく下回る	レベル 2 期待を下回る	レベル 3 期待通り	レベル 4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
(1) 歯科専門職の連携 ① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理の際に連携を図る。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
(2) 多職種連携、地域医療 ① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑥ がん患者等の周術期など口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
⑦ 歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
(3) 地域保健 ① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解 ①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。 (	研修歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐
	指導歯科医評価	☐	☐	☐	☐	☐

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

歯科医師臨床研修の目標の達成度判定票

様式 4

研修歯科医氏名：_____

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフッショナルリズム）

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 社会的使命と公衆衛生への寄与	☐ 既 ☐ 未	
2. 利他的な態度	☐ 既 ☐ 未	
3. 人間性の尊重	☐ 既 ☐ 未	
4. 自らを高める姿勢	☐ 既 ☐ 未	

B. 資質・能力

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 医学・医療における倫理性	☐ 既 ☐ 未	
2. 歯科医療の質と安全の管理	☐ 既 ☐ 未	
3. 医学知識と問題対応能力	☐ 既 ☐ 未	
4. 診療技能と患者ケア	☐ 既 ☐ 未	
5. コミュニケーション能力	☐ 既 ☐ 未	
6. チーム医療の実践	☐ 既 ☐ 未	
7. 社会における医療の実践	☐ 既 ☐ 未	
8. 科学的探究	☐ 既 ☐ 未	
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	☐ 既 ☐ 未	

C. 基本的診療業務

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 基本的診療能力等	☐ 既 ☐ 未	
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等	☐ 既 ☐ 未	

歯科医師臨床研修の目標の達成状況	☐ 既達 ☐ 未達
(歯科医師臨床研修の目標の達成に必要な条件等)	

年 月 日

公立陶生病院 歯科医師臨床研修プログラム

プログラム責任者 _____